

「スマート農業と6次産業化の促進」

政府は「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、**地方自治体に自立した、独創的な経営戦略を求めています。**

「国が何かをしてくれる」という姿勢では、何も始まりません。議員・市民自らが提案・提言する時代です。大竹のぼるは、市民の皆様と開催したフォーラムをもとに**スロータウン、スローツーリズムの観点から「とかいなかビジョン・龍ヶ崎」**というグランドデザインを描かせて頂きました。

その中でも、自然との共生と資源の活用、「効率化による農業の発展＝スマート農業」の促進がこれからの龍ヶ崎市には特に重要な課題と考えています。

複数のスマート農業の拠点をつくり、農業体験、ハーブや花などを利用した薬湯浴場の整備等を行うことで新たな観光拠点となり、交流人口が増えると同時に市民の交流の場として、街の発展へとつながっていきます。

龍ヶ崎市最大の出荷額であるコメはもちろん、農産物の6次産業化と**ブランド化**。荒れた竹林はバイオマス燃料としてエネルギー源にする等、多くの可能性がこの**マチ**にはあります。

自然と共生し資源・資産を活かした龍ヶ崎市らしい政策を力強く推し進めてまいります。



自治体の中に、スマート農業を取り入れ、食料やエネルギーを自給し、生産と廃棄の完全な循環システムを備えた村「ReGenVillage」

出典) regenvillages.com

大竹のぼる

【ご意見、お問合せは下記にお寄せください。】

FAX 0297-62-8383
携帯電話 090-2941-6881
Email noboru-o@star.ocn.ne.jp
ホームページ noboru-otake.jp/
住所 〒301-0837 龍ヶ崎市根町781-2

プロフィール

龍ヶ崎市議会 副議長
自民党はなし康弘後援会龍ヶ崎支部幹事長
茗溪学園龍ヶ崎地区父母会 元会長
龍ヶ崎中央ロータリークラブ 元会長
㈱SCプランニング 顧問
とんび風研究会会員
元龍ヶ崎柔道スポーツ少年団指導員
龍ヶ崎第一高等学校卒業
東京国際大学商学部卒業

—— 政策実現へ向けて様々な方と交流しています。 ——



自民党
はなし康弘
衆議院議員



自民党
はぎわら勇
県議会議員

討議資料

自然環境と豊かな暮らし

「とかいなか」ビジョン



龍ヶ崎市議会議員

大竹のぼる

「都会+田舎=とかいなか」

ビジョンを推進し若者を呼び込もう！
磨けば光る観光農業化の更なる発展へ

議会活動、市政報告は公式ホームページへ
<https://noboru-otake.jp/>





自然環境と豊かな暮らし とかいなかビジョン・龍ケ崎

(都会+田舎)

を提言しています。

少子高齢化問題、教育問題、子育て環境、防犯問題など巷で聞く問題は、龍ケ崎市も例外ではありません。山積の問題を解決するためには問題をしっかり認識し、龍ケ崎の理想を明確にイメージすることが大切であると考えます。その理想を実現するために、次のA~Jのような「ビジョン」を提言しています。

その理想の実現に向けてスマート農業の導入や、IOT・ICTやAI技術を組み合わせ新たな産業の創造と共に、自然や文化を活かしたグリーンツーリズムの促進など、龍ケ崎ならではの経済効果を生み出し、雇用を創出することが不可欠です。

若者の働き先の確保、所得の向上、教育環境の改善、生活環境の向上など、豊かな暮らしを実現する理想の未来を詰め込んだランドデザインが「とかいなかビジョン・龍ケ崎」です。

龍ケ崎市らしい
資源・文化
の活用



IOT・ICT
AIを使った
農工商産業



自然との共生
豊かな暮らし



A 雇用の創出とIOT・AI近未来型農工商産業の促進ゾーン

佐貫駅周辺とニュータウンの連結役割ゾーン。最新技術を取り入れ、スマート農業による雇用の創出、異常気象や自然災害に強い農業と循環型街づくりのモデルゾーン

B 龍ケ崎ブランドの構築と交流と癒しを生む観光農業・ニューツーリズムゾーン

Bゾーンは米どころの穀倉地帯であり、スマート農業と加工場、バイオマス処理場を併せ持った龍ケ崎ブランドを生む小さな拠点づくりゾーン。Cゾーンは、ハーブ園やフラワー温室、ヒーリングホテルなど、ニューツーリズムの拠点になる健康増進ゾーン。

D 環境と教育を融合したICTまちづくりゾーン

インターネット環境整備により、リモートワークなど出社しない働き方に最適地。また、自然の森の中での小中高一貫校、インターナショナルスクールなど教育環境を整え「自然・働き方・教育・暮らし」を融合した、新時代の街づくりゾーン。

E 地区の特徴と役割を考えたコンパクトシティーへ

伝統工芸、文化財保護、防災、防犯センターの設置など都市機能の充実を進めるセンタービレッジと、IJUターンの若者や高齢者向け住宅の整備など、優しい住まい環境の整備により、安全安心の街、住みやすい街づくりを進めます。

G 観光の新たな可能性を持つ牛久沼・蛇沼・中沼ゾーン

道の駅が話題の牛久沼ですが、観光という観点からも手付かずの状態です。グリーンツーリズムの促進や名物と農業の調和のとれた観光地ゾーン。

J 家族で集える公園型墓地の造成

終の棲家である墓地にも、様々な利用形態が求められています。子どもたちが自然と遊ぶことが出来たり収穫体験が出来る公園としても整備することで、通年、家族が立ち寄り、楽しめるお墓になります。樹木葬の利用など、終の棲家にも龍ケ崎らしさを活かします。

【アクセスの向上、物流網の整備】

- ・美浦栄線バイパスの早期開通、さらに圏央道へ接続で効率の良い物流網の整備へ。
- ・国道6号線から停車場線への接続で、市街区へのアクセス向上。

【近隣市町村との連携】

一言で県南と言っても、近隣の各市町村でさまざまな特徴があります。相互関係を密にし、お互いの特徴を生かした連携を進め、公共施設再編など生活改善にもつながる様々なメリットが生まれます。



垂直農業や水耕栽培と水産養殖を組み合わせた最先端農業ファーム。龍ケ崎でも大竹主導のもと、スマート農業の稼働準備を進めています。

